



本資料は、2025 年 4 月 22 日にドイツ本社から発表されたプレスリリースの日本語抄訳です。
抄訳のため、記載されている内容はすべてコンセプトカーに関するものです。

Mercedes-Benz

Press Information

新時代の幕開け： Vision V が示す、ラグジュアリーリムジンの新たな世界

- ・ 近未来のバン電動アーキテクチャ(VAN.EA)が、メルセデス・ベンツ バンの新たな時代を切り開く
- ・ マルチパーパスビークルのラインアップをさらにトップエンドセグメントへ広げ、独自の魅力を備えたポジションを確立
- ・ Vision V は、最上級の顧客ニーズに応える贅沢でエレガントなマルチパーパスビークル
- ・ 最高の快適性を備えた広々としたオープンインテリアデザイン
- ・ 没入感のある車内空間を提供する、格納式65インチシネマスクリーン、42個のスピーカーによるサラウンドシステム、そして7台のプロジェクターを搭載

2026年からメルセデス・ベンツ ドイツ本社は、新開発のバン専用電動アーキテクチャ「VAN.EA」を導入し、新たな時代を切り開きます。この新型アーキテクチャのもと、これまでプライベートユースとして位置づけられてきたバンを再定義し、「プライベートラウンジ」という新たなコンセプトを軸に、ラグジュアリーセグメントへと進化させます。将来的なモデルラインアップは、実用的なエントリーセグメントのファミリー向け車両から、VIP向けの高級シャトル、さらにゆとりある空間を備えたラグジュアリーリムジンまで、多様なニーズに応える形で展開される予定です^{*1}。

メルセデス・ベンツは、これら最上級モデルの拡充を通して、自ら独自の新しいセグメントを確立し真のラグジュアリーにふさわしい世界観を提供していきます。

^{*1}: 欧州での予定

「Vision V」は、この最上級の世界観を示すショーカーとして、ゆとりある空間、最大級のエクスクルーシビティ、そしてこれまでにない没入型のデジタル体験を融合し、従来のクラフトマンシップと先進的なデジタル技術を調和させることで、まるで繭のように包まれる上質な空間を実現しました。

Vision Vは、ラグジュアリーでエレガントなショーファードリブンリムジンカーとしてデザインされ、新次元の快適性を提供します。スポーティでエレガントな外観は、アイコンニックなデザインを継承しつつ、ダイナミズムとステータスを表現しています。

ラグジュアリー空間の再定義:極上の快適性を備えたラウンジのような設え

右側には、大型の自動開閉式「ポータルドア」と、照明付きの電動格納式ステップを装備しています。後席ラウンジへの乗り降りを、より快適かつスムーズにします。「プライベートラウンジ」と運転席の間には、透明度を自在に切り替えられるスマートガラスの仕切りを配置。このガラスは、全体または一部を透明から不透明に瞬時に切り替えることができ、プライバシーや開放感をシーンに応じて調整できます。

「プライベートラウンジ」の座席エリアは圧倒的な広さを誇り、開放感あふれる空間は、これまでにない自由さとゆとり、そして安心感と静けさまでももたらします。インテリア全体は、先進技術をエレガントに融合し、未来志向のデジタルデザインへと導くと同時に、自動車設計の新たな基準を提示します。伝統的なクラフトマンシップの素材と、予想を超える最先端のテクノロジーデザインが美しく調和し、唯一無二の室内空間を生み出しています。

クリスタルホワイトのナッパレザーと、ほのかに輝くホワイトシルクを組み合わせ、そこにオープンポア仕上げのバールウッドを大胆にあしらうことで、上質なコントラストが生まれています。サイドウォールには、高級家具のようなディスプレイキャビネットがダークウッドトリムに美しく組み込まれ、周囲はポリッシュ仕上げのアルミニウムトリムで縁取られています。これらは、ハンドバッグやサングラス、スマートフォンなど、個人の小物をすっきりと収めるスペースとしても機能します。

レースゲーム用のコントローラーや、Dolby Atmos対応のサラウンドサウンドシステムのスピーカー（全42スピーカーのうちの1スピーカー）もこの中に巧みに組み込まれています。さらに、追加のスピーカーは丸みを帯びたガラスのケースに収められ、手作業で仕上げられた専用ブラケットでサイドウォールからスタイリッシュに張り出すように設置されています。これらのディテールが、エレガントで開放的なリビングのような空間演出を、より一層引き立てます。

2脚の独立シートの間にあるセンターコンソールも、ディスプレイキャビネットとしての機能を兼ね備えています。エン터테인먼트操作のタッチパッドや、格納式のテーブルが内蔵されており、機能性にも優れています。テーブルを展開すると、そこには高級感あふれるチェスボードが現れます。これは、伝統的なクラフトマンシップへのオマージュでもあります。このセンターコンソールは、乗員の座席位置に合わせて自動調整される仕組みとなっており、常に最適な快適性を提供します。

未来感あふれる革新的なラグジュアリーシート

最上級クラスのシートは、洗練されたラウンジチェアを思わせるデザインで、ポリッシュ仕上げのアルミニウム製ベースの上に配置されています。シート本体は、高い柔軟性をもつチューブ状のクッションを束ねて構成されており、その独特な構造が未来的なデザインを際立たせています。それぞれのクッションチューブは、磨き上げられたアルミ製の光沢ある留め具で美しく固定されており、細部にまで上質感と華やかさが宿ります。シートは電動調整式で、最適な人間工学に基づいた設計により、移動時間を極上の快適さへと昇華させます。さらに、リクライニング機能により、快適なフラットポジションにすることも可能です。乗員はまるで自宅のようにくつろぐことができます。

ストリップライトとルームランプを組み合わせた360度全体を包み込むようなアンビエントライトが、まるで自分のリビングにいるような居心地のよい空間を演出します。ライティングがパーソナルな世界観を彩り、乗る人だけの特別な時間を提供します。リアのセンターコンソールの背後には、ポリッシュ加工のアルミニウムボトルに収められたフレグランスが設置されており、空間全体に洗練された香りを広げ、五感を満たすラグジュアリー体験を完成させます。

没入型「プライベートラウンジ」で味わう、最上級のデジタル体験

「プライベートラウンジ」の座席エリアにおける特長のひとつが、床下に格納された65インチのシネマスクリーンです。このスクリーンはスプリットスクリーン機能も備えています。乗員が車内に入り、ドアが閉まると同時に、そのスクリーンはバールウッドとナッパレザーで仕上げられたコンソールから魔法のように静かにせり上がります。そしてそのスクリーンが「プライベートラウンジ」とコックピットを優雅に区切っていく様子を、乗員は目の前でゆったりと眺めることができます。

4K解像度に対応したシネマスクリーンは、映像やゲームを驚くほど鮮明かつ高精細に映し出します。Dolby Atmosに対応したサラウンドサウンドシステムが、まるでその場にいますかのような立体的な音響体験を提供します。システム全体では合計42スピーカーを搭載しており、その中にはシート内蔵型の「エキサイター」も含まれています。これにより音楽は、耳で聴くだけでなく、体で「感じる」体験へと昇華されます。

天井や床に設置された7基のプロジェクターが、映像を車内全体へと広げ、視界を拡張することで没入感をさらに高めます。サイドウィンドウは「追加のスクリーン」としても機能し、車内全体を包み込むような360度のデジタル体験を実現します。音楽再生時にはアンビエントライトが連動して、繭のように包まれる独自の「コクーニング効果」がさらに高まります。ライティングの色は音楽のビートに合わせて変化し、視覚と聴覚が一体となった演出を生み出します。65インチのシネマスクリーンは、センターコンソールに備えられたタッチパッドで操作可能で、床下からの昇降もスムーズに行えます。

運転席との仕切りガラスや、「プライベートラウンジ」にある床のスラットと同様に、サイドウィンドウのガラスも不透明に切り替えることができ、専属ドライバー付き車両ならではの特別感を際立たせます。ガラスは透明から希望の不透明度に、ほんの数ミリ秒で切り替え可能。プライバシー確保や日除けはもちろん、デジタルコンテンツの映像面として動的に活用することもできます。このガラスには極小の液晶が組み込まれており、電圧をかけることでその並びが制御され、透過状態を自在に変化させる仕組みです。

7つのインタラクティブな体験モードで、パーソナライズされたラグジュアリーの新境地へ

Vision Vが提供する没入型デジタル体験は、圧倒的な奥行きと臨場感を生み出し、乗員を7つの体験へと引き込んでいきます。

- エンターテインメント:

ゆったりとシートに身を預け、選択された映画や、お気に入りのアーティストの音楽を楽しめます。オーディオモードでは、デジタルサウンドバーが臨場感あふれる音楽体験を提供します。シネマスクリーンは部分的に展開して、サウンドバーの操作インターフェースとしても活用できます。

- リラックス:
忙しい一日を終えたら、シートをリクライニングしてリラックスモードへ。スクリーンには穏やかな風景が静かに流れ、やさしい音楽が心をほぐしてくれます。
- ゲーミング:
ゲーム好きのために、Vision Vは一気にゲームハブへと変貌。専用コントローラーを使って楽しめるレーシングゲームなどが用意されています。
- ワーク:
プライベートラウンジは、そのまま移動型オフィスに早変わり。シネマスクリーンはバーチャルな作業スペースとして活用できます。
- ショッピング:
移動中にゴルフやテニスのイベントチケットを購入したり、新しい指輪や香水をじっくり選んだり、インタラクティブなショッピング機能がまるで実店舗のような感覚で商品を表示してくれます。
- ディスカバリー:
走行中に周囲のエリアをリアルに知ることができるサラウンドナビゲーションの情報が65インチのシネマスクリーンに表示され、3Dゲームエンジンによるグラフィックで車両の周囲をリアルに描き出します。さらに、カメラ映像にはAR(拡張現実)によって各種情報が重ねて表示されます。
- カラオケ:
走行中にお気に入りの曲を歌って、まるでカラオケバーにいるかのような気分になる。そのような体験が、Vision Vなら可能です。

運転席と助手席のための、3面構成「スーパースクリーン」

Vision Vの Cockpit も、最先端のデジタル体験を提供します。3つのスクリーンで構成されたスーパースクリーンが、ピラーからピラーまで横一線に広がります。ユーザーインターフェースと操作体験は、個々の好みに合わせてカスタマイズ可能です。リアルタイム描画によって、あらゆる重要な情報が表示されます。バーチャルインストルメントパネルから、周囲の状況を地図上にリアルタイム表示するサラウンドナビゲーションまで、各種運転支援システムとも連携しながらシームレスに提供されます。

空力性能を追求したエクステリアデザイン: 低く構えたシルエットと革新的な美学

Vision Vのエクステリアデザインは、メルセデス・ベンツ独自の「^{センシュアル ビュリティ}Sensual Purity(官能的純粋)」というデザイン哲学を、次なるステージへと進化させています。彫刻的なフォルムは、空力性能の高さと革新的な美しさを兼ね備えた造形が特長です。前後のオーバーハングやフロントエンドは極めて短く設計されています。サイドビューでは、ボディ側面のくびれが特に強調されており、シャープで引き締まった印象を与えます。引き締まったルーフラインは、なだらかに丸みを帯びたリアエンドへと流れるようにつながっています。この流れるようなシルエットは、力強さと動的な軽やかさを同時に感じさせます。それは自信に満ちた佇まいを象徴すると同時に、メルセデス・ベンツが未来のマルチパーパスビークルに込めるデザイン思想と卓越した走行体験を予感させます。

クロームトリムの装飾要素と、透過型のイルミネーションルーバーの組み合わせが目を引き、伝統と未来が融合するデザイン表現となっています。あらゆる角度から視認できるLEDライティングが車両全体のプロポーションを際立たせ、動きと生命感、そして洗練された優雅さをもたらします。クローム仕上げのBピラーに設けられたウェルカムスクリーンと相まって、室内に広がるデジタルな体験世界の入口として、特別な空間演出を象徴しています。

新たな輝きをまとった象徴的なデザイン要素

印象的なフロントフェイスの中心には、新たに解釈されたクローム製のラジエターグリルが据えられています。3本の水平なイルミネーション付きガラス製ルーバーが組み込まれています。このグリルを縁取るクロームフレームの周囲には、テクニカルな印象を持つライトエレメントが約200個配置されています。ボンネット下の強調されたボディギャップ部分にも、さらに約190本のイルミネーテッドルーバーが組み込まれています。これらのルーバーはサイドのヘッドライトを囲み、その内部にはメルセデス・ベンツの象徴であるスリーポイントスターがデザインされています。

Vision Vに近づく、すべてのルーバーがダイナミックかつ芸術的な光の演出で乗員を迎え入れます。演出のフィナーレは、ボンネット上で明るく輝くメルセデス・ベンツのスリーポイントスターです。

Vision Vのスポーティなプロポーションを強調しているのは、短いボンネットに設けられた2つのパワードーム。これはコックピット方向へと立体的に伸び、大型のホイールアーチや力強く造形されたショルダーラインとともに存在感を高めています。これらの造形が、サイド全体に力強い量感を与えています。このエッジのシャープな造形に、金属的な光沢を放つアルビーム塗装のアンスラサイトカラー、クローム仕上げのウィンドウモールが組み合わせ、エレガンスとダイナミズムの理想的なバランスを生み出しています。

24インチホイールにも、イルミネーテッドルーバーが組み込まれています。光と動きの演出は、リアセクションにも継承されています。大型のリアウィンドウは、450本以上の立体的なイルミネーテッドルーバーに縁取られており、これがテールライトやブレーキランプとして機能します。